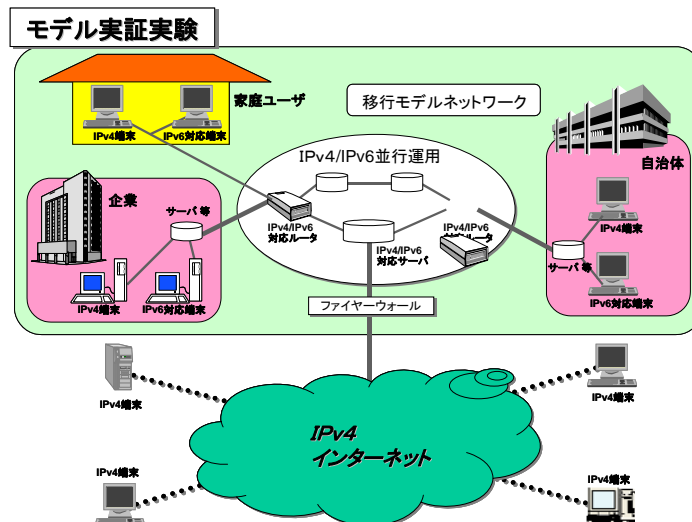


# インターネットのIPv6への移行の推進

## 1 施策の概要

- 最近のIPv4アドレスの消費動向、多様な機器がネットワークに接続されることによる需要拡大にかんがみ、インターネット基盤全体のIPv4からIPv6への円滑な移行は喫緊の課題。
- e-Japan 戦略等においては、「IPv6を備えたインターネット網への移行」を具体的な政策目標として設定。
- 「21世紀におけるインターネット政策の在り方」（平成14年8月7日情報通信審議会中間答申）等を踏まえ、平成15年度より地方自治体、企業ユーザ、家庭ユーザ等から構成されるモデルネットワークにおいて実証実験を実施。
- 現行インターネットの利用実態を踏まえたモデルネットワークにおいて、ネットワーク運用上の課題の解決を図るとともに、現在のIPv4に影響を与えずにIPv6に円滑に移行するための最適移行モデルを策定。
- 国際的なIPv6への移行を促進するため、IPv6への移行ノウハウを実証実験の成果の公表、国際機関等を通じた標準化等により諸外国に発信。

## 2 イメージ図



## 3 実施期間

平成15年度から平成17年度

## 4 所要経費

一般会計 4, 809百万円（過去3カ年分の予算額の合計）

## 5 成果

総務省では、平成15年度から3か年計画で、地方公共団体、中小企業、家庭等の利用者が容易にIPv6を使える環境を整備するための実証実験を、モデルネットワークを構築して実施してきました。

これにより、IPv6に関するネットワーク運用上の技術的検証を行うとともに、地方公共団体等の業務や地域の生活に密接に関係する用途におけるIPv6の活用例について検証し、「IPv6ソリューションガイドライン（[日本語](#) (PDF)、[英語](#) (PDF)）」としてとりまとめました。